

市川市議会では、年4回の各定例会で、会派（結成には3人以上の議員が必要）ごとに市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、会派数及び会派の所属人数に応じて割り振って決定します。今回の6月定例会の代表質問は、市長の所信表明及び市長提出議案等その他市政全般を対象として行いました。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、各会派が指定した項目の質問・答弁を要約して掲載しました。※6月定例会の代表質問は6月8日に通告を締め切り、6月15日から3日間の日程で行いました。※代表質問を行った各会派の所属議員は、代表質問実施時点のものとしています。

代表質問

自由民主の会



中山 幸紀

〔補足質問者〕

細田 伸一

加藤 圭一

青山ひろかず

土葬希望者への対応

問 市には、生まれ育った環境、宗教等が異なる多くの外国人が居住している。そのような中、多様な価値観を認め合うとはどのようなことか。また、外国では日本のように遺体を火葬する国は多くはないため、土葬の文化を持つ外国人が死亡し、親族等が土葬を希望した場合の市の対応を問う。

答 多様な価値観を認め合うとは、全ての価値観に賛同を求めるものではなく、一人ひとりが異なる考え方を理解し、互いの違いを尊重することと認識している。土葬については、「墓地、埋葬等に関する法律」において、死体を土中に葬ることを「埋葬」と定義し、墓地以外への埋葬を禁止しており、「市川市墓地等の経営の許可等に関する条例」において、市内にある墓地への埋葬を禁止しているため、本市では土葬はできないこととなる。

南沖公園の許可申請

宗教活動を目的とする利用や宗教法人に対して、公共施設である公園を貸し出すことは、都市公園法第1条の「公共の福祉の増進に資することを目的とする」という趣旨に反すると認識している。市は、集団礼拝を行わないことを条件に公園を貸し出す方針に転換したが、その理由を問う。また、今後、同様の許可申請があった場合、市はどのような対応をするのか。



申請内容の精査が行われた南沖公園

地域政党チームいちかわ



丸金ゆきこ

富家 薫

野口じゅん

日本語指導の充実

問 外国にルーツを持つ児童生徒が言葉の壁により学びから取り残されることなく、自らの可能性を伸ばしていくことは重要である。市川市教育振興大綱具休化パッケージで掲げている日本語指導の充実、外国籍

等の児童生徒への支援のみならず、日本人児童生徒にとっても多様性への理解等を育み、これからの国際社会を生きる上での教育的意義があると考える。そこで、多文化共生教育の意義について、市の認識を問う。また、更なる外国人住民の増加が見込まれる中で、教育や地域政策において、市は共生の視点をどのように位置付け、推進していくのか。

答 学校生活の中で、日本人児童生徒が、身振りや手振り、わかりやすい日本語で話すことにより、外国籍等の児童生徒とコミュニケーションをとる姿を確認している。このことから、外国籍等の児童生徒と共に過ごすことを通じて、多文化共生の意識が育まれていると認識している。また、令和5年度から、市教育委員会は、市川市国際交流協会との情報交換会で日本語指導について話し合いを行い、学校支援に生かしている。一方で、8年1月に国の関係閣僚会議において「外国人の受入れ、秩序ある共生のための総合的対応策」が示されており、これらを踏



日本語指導の様子

インターネット議会中継

市川市議会では、本会議の様子を「インターネット議会中継(ライブ)」と「YouTube(録画)」で配信しています。

また、市公式ウェブサイトでは定例会の日程や審議結果、会議録などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

市川市議会

検索



(詳しくはこちら)

本八幡再開発のビル風対策

問 本八幡駅北口駅前地区第一種市街地再開発事業において、地上44階建てのビルを建設予定とのことであるが、これまでも本八幡駅周辺ではビル風対策が課題になっており、本事業による更なるビル風の発生を懸念する市民の意見が寄せられている。そこで、ビル風に対する法的規制及び設計段階における対策について、市の見解を問う。また、当該地域周辺に現存するビルの建設前に、風環境調査を行った実績はあるのか。

答 現在、ビル風の発生や風速を制限する基準は、法律上設けられていないが、ビル風が及ぼす影響を未然に防止することは重要であると考えられる。本事業の施行者である本八幡駅北口駅前

地区市街地再開発組合が、コンピュータシミュレーションによる風環境調査を実施した結果、周辺地域の風環境は一般的な住宅街として許容できるものである。また、過去の調査実績として平成17年度に風環境調査を実施しており、今回の調査結果同様、一般的な住宅街として許容できる結果となっている。



JR本八幡駅北口駅前から見たイメージ